

保護者の皆様へ

柴崎保育園・民営化だより

平成 31 年 2 月 27 日 第 6 号

寒暖の差が激しい日が多くなってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、柴崎保育園の民営化運営事業者につきましては、昨年11月に民営化だより第5号でお知らせいたしましたとおり、社会福祉法人若水会（練馬区南大泉）に決定いたしましたので、柴崎保育園保護者の皆様と若水会、市の三者による第1回三者懇談会を、2月23日（土）に柴崎保育園にて開催いたしました。

懇談会では、市から事業者選考の経過および結果をご説明した後、運営事業者に決まった若水会から、法人の紹介や保育の考え方などについてのお話しや、柴崎保育園の園長予定者および主任予定者の紹介を行いました。

このほか、三者懇談会の開催や引継ぎ保育、合同保育の実施など、今後のスケジュールについてお話をしたほか、民営化に伴う内容について、現時点での市や若水会の考え方をお伝えし、保護者の皆さんからご意見やご質問をいただきましたので、お知らせいたします。

（1）事業者選考の経過および結果

柴崎保育園の民営化事業者選考につきましては、昨年4月に「立川市立柴崎保育園民営化に係る事業者選考委員会」を設置し、約半年間にわたり様々な視点から選考を進めていただきました。

第1次審査では、事業者全体の運営状況、現在事業者が運営する既存保育所の運営状況や保育内容、柴崎保育園での運営と保育の計画等について書類上の評価を行いました。第1次審査の評価の結果、応募のあった6事業者のうち、上位3事業者を第2次審査を行う事業者として決定しました。

第2次審査では、まず事業者の代表者や園長・主任予定者から直接聞き取り等を行う「プレゼンテーション・ヒアリング審査」を行い、次に事業者が現に運営する保育所を訪問して審査を行う「現地審査」を行いました。第2次審査では、直接応募事業者の職員に会い、現在運営している保育所を訪問し、実際の保育の現場を見て評価を行いました。

この選考委員会による第1次審査と第2次審査の合計点が第1位となった社会福祉法人若水会が、柴崎保育園の運営事業者として選定されました。

選考委員会からの選考理由のあらましとしては次のとおりです。

社会福祉法人若水会は、昭和59年に社会福祉法人として認可され、現在認可保育所3園を運営しています。法人としての財務状況は良好であり、民営化の要件である、民営化移行後3年以内の建て替えについても、十分対応可能な資金力を有していると判断しました。保育内容については、保育所保育指針に則った適正な保育を実施していることはもちろんのこと、子ども達の主体性を大事にした保育を行っている点が評価されました。例としては、子ども同士のトラブルについて、保育者が積極的に介入するのではなく、できる限り子ども自身での解決を見守っていくという姿勢や、食事の時間には子ども自身が食べたいタイミングで食事の部屋に行き、自分で盛り付け、食べ終わったらそれぞれで保育室に戻るなど、主体性を育むむとりくみなどが挙げられます。また、遊びの場面では、室内外を問わず3、4、5歳児のそれぞれが過ごしたい場所で遊んでいて、これを見守る保育者はスムーズな連携が必要であることから、高く評価されました。また若い保育者が一定程度いるにも関わらず、落ち着いた保育が行われており、年齢が異なった児童がともに遊んでいるところは柴崎保育園の保育を通じる点も高く評価されました。

(2) 運営事業者および園長・主任保育士予定者の紹介

〔若水会のこれまでの歩みと保育への取り組み等〕(理事長 桑田利三さん、常務理事 西野 和子さん)

(桑田理事長) この度、柴崎保育園民営化事業者に選考されました若水会の理事長、桑田と申します。事業者選考にあたりましては大変高い評価をいただき、また、本日は皆様とお会いできてうれしく思っております。若水会は3つの保育所を運営しており、それほど大きい法人ではありませんが、保育については自信をもって運営をしております。若水会では「輝け、子どもも大人も」の理念を掲げ、子どもたちはもちろん、保護者の皆様も、また若水会の職員も、皆で協力して輝いていけるような、皆が満足できる保育園を作り上げていこうというのが、若水会の目標としているところです。今日を第1回目として、1年をかけてより良い引継ぎを行いたいと思っております。

(西野常務理事) 若水会の創設者の西野と申します。創設当初は、「0歳児を預けるのは可哀そう」と言われた時代、可哀そうでない保育を目指し、現在では府中市と練馬区で3つの保育所を運営しております。柴崎保育園の民営化にあたりましても、それぞれの園で協力体制を作り、職種ごとでも連絡を取り合って進めています。柴崎保育園の園長予定者は法人の既存保育園の園長ですが、既存保育園に残る職員たちも十分に経験を積んでおり、堀越園長が柴崎保育園に転勤しても、問題なく既存保育園を運営することができるよう体制を整えています。保護者の皆さんの子育てについては、保育園時代が最も大変な時期だと考えておりますので、柴崎保育園においても、その大事な時期をしっかりと支えていきたいと考えております。

〔園長予定者の紹介（自己紹介）〕(堀越 泰恵さん)

現在は府中市にあるにじのいろ保育園の園長をしています、堀越と申します。よろしくお願ひいたします。柴崎保育園はにじのいろ保育園と似ている点が多くあり、親しみを感じています。民営化にあたりましては保護者の皆様には不安な点も多々あると思いますが、これから一年かけてしっかりと柴崎保育園の保育を引継ぎ、子どもたち一人一人の個性を尊重し、保護者の皆様にも安心していただけるよう、努めています。

〔主任保育士予定者の紹介（自己紹介）〕(和田 結花さん)

現在はにじのいろ保育園で2歳児を担当しています、和田と申します。よろしくお願ひいたします。保護者の皆様と一緒に近いところで触れ合える立場となりますので、皆様のご意見等を十分に伺い、10月からの引継ぎ保育など、丁寧に進めたいと考えていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(3) 民営化までの今後のスケジュール

〔三者懇談会〕

2020年4月の民営化に向けて、これから定期的に三者懇談会を開催いたします。今回が第1回となりまして、次の第2回では、より多くの保護者の皆様とお話しをするために、各クラスのクラス懇談会にお邪魔してお時間をいただき、新しい運営事業者である若水会の保育への考え方等を改めてお話ししていきたいと思います。

その後は、三者懇談会を9月、11月、1月、3月と、2カ月おきに開催する予定です。9月では10月からの引継ぎ保育に関する内容として、引継ぎ保育に入る職員の紹介や進め方、その他民営化に関する課題などをお話しすることを予定しています。11月からは引継ぎ保育の実施状況、子どもたちの園やご家庭での様子などを話し合っていくことを見込んでいます。

〔引継ぎ保育等〕

本年、10月から来年3月末まで、市と民営化運営事業者の保育士が一緒に保育を行って子どもたちの状況や保育の内容等について引き継ぎを行っていく、「引継ぎ保育」を実施いたします。この引継ぎ保育では、民営化後の園長予定者、主任保育士予定者のほか、クラス担任になる保育士の予定者5名の計7名が柴崎保育園において実際に保育を行っていきます。

引継ぎ保育では、事業者の保育士は基本的には週4日柴崎保育園に勤務することになりますが、途中からは早番や遅番にも入って、できるだけ多くの保護者の皆さんと顔を合わせるようにしていきます。また、2020年2月頃からは看護師や栄養士なども柴崎保育園にて、業務の引継ぎを行っていく予定です。

【合同保育】

引継ぎ保育を行い、2020年4月から若水会による運営が始まった後には、原則3ヶ月間は市の柴崎保育園元職員の、園長または副園長1名、乳児・幼児担当各1名の計3名が残って、民営化事業者の保育をサポートしていく「合同保育」を行っていきます。

合同保育の実施期間は、民営化後に市で事業者の保育を検証していき、うまく保育が引き継がれ安定した保育を行うことができると判断できれば、原則は3ヶ月間で終了する予定です。

【園舎の改築】

民営化にあたりましては、運営する事業者に民営化後3年以内に園舎を建て替え、定員を拡大することを義務付けています。今後、若水会において具体的な計画を検討し、保護者の皆様にお知らせをしながら、進めていく予定です。

(4) 延長保育について

民営化にあたりましては、現在の延長保育時間30分(18:30~19:00)を60分以上に拡大することを運営事業者に求めており、柴崎保育園では、延長保育の時間を18:30~19:30までの60分に拡大する見込みです。料金については民営化前と同じ19:00までの利用であれば、保護者の皆様の費用負担は変わらないようにします。

【懇談会における主な質問と回答】

- ・Q 1. 選考の評価の中で、子ども同士のトラブルについて、保育者が積極的に介入しないで見守るとあったが、その後どのように解決をしていくのですか。
- ・A 1. 子どもたちのケンカというのは子ども自身の思いのぶつかり合いですので、両方の言い分や考えをよく聞いた上で、子ども自身の気持ちに寄り添うことで、大人がこうするんだよと教えるのではなく、子ども自身が納得した上でトラブルを解決できるように対応しています。
- ・Q 2. 私立の保育園では、モンテッソーリなどを取り入れるところが多くなっていますが、民営化後はそのような〇〇式の保育になる、などのことはあるのでしょうか。
- ・A 2. いろいろな方式があることは承知していますし、それぞれの内容を研修等で学ぶ機会は多く設けておりますが、若水会としてはそれぞれの良いところを取り入れた保育を行っていくようにしています。民営化にあたりましては、現在の柴崎保育園の保育を引き継いでいくことが原則になっていますので、〇〇方式によるごと切り替わる等のようなことはありません。
- ・Q 3. 民営化することによって、新たな保護者負担（布団の購入等）を求められることはないでしょうか。
- ・A 3. 民営化にあたりましては、原則として保護者負担が増えることはありません。書類の取り扱いなどで変わることの場合や、万が一新たに保護者の皆様に負担をお願いする提案をする場合は、必ず事前に保護者の皆様にご説明の上、同意をいただいてから行うようにします。
- ・Q 4. 仮設園舎の建て替え時期が卒園式等が重なる場合は、プレハブなどで式を行うのは気になりますが、どのように考えていますか。
- ・A 4. そういうご意見がおありであることは十分承知しておりますので、スケジュールや仮設園舎の作りなど建築士等とよく話し合って計画を進めていきたいと考えています。
- ・Q 5. 仮設園舎の設置場所が遠くなると困りますが、設置場所は決まっていますか。また建替えの期間はどのくらいを見込んでいるでしょうか。

- ・A 5.まだ設置場所等は決定していません。できる限り子どもたちや保護者の皆様にご負担をかけない形で進めたいと考えています。建替えの期間については、午睡の時間に工事ができないなど制限があるので、一般的な工期より長く、12カ月くらいはかかると考えています。
- ・Q 6.現在柴崎保育園で行われている縦割り保育はどうなりますか。また休日保育の実施計画はありますか。
・A 6.クラス編成は民営化前と同様な編成で行う予定です。休日保育については、今のところ計画はしていません。若水会の他の保育園でも実施しておりませんが、今後ご要望があることを踏まえて検討していくことも考えています。
- ・Q 7.民営化により先生たちが変わるということを、子どもたちにいつ頃伝えれば良いでしょうか。
・A 7.本年10月から引継ぎ保育を行い、保育室の中に若水会職員が入ってきますので、だんだんと新しい保育士さんも顔を知ってもらい、子どもたちや保護者の皆さんと、若水会の保育士さんとの関係を作っていくことになります。子どもたちには柴崎保育園の担任等から、若水会の保育士さんも遊んだりお願いをして良いということを伝えていきます。
- ・Q 8.子どもたちの保育園での様子を保護者が見る機会（保育参加）等はありますか。また行事を見る機会などはありますか。
・A 8.若水会の保育園では、行事などを見ていただく機会は設けています。また「保育士体験」という名称で、保護者の方のご都合が良い時に、実際にクラスに入って子どもたちと関わっていただく機会も作っています。今後は柴崎保育園の行事を見る機会なども保護者の皆様と話し合って決めていきたいと考えています。
- ・Q 9.民営化後の卒園式など、立川市の保育士を招いたりしてもらえますか。
・A 9.行事などに立川市職員を招待することも考えています。
- ・Q 10.今慣れ親しんでいる本やおもちゃは民営化後は全て新しくなるのでしょうか。また畑などは続けるのでしょうか。
・A 10.民営化にあたりましては、園舎と備品は若水会へ譲与となりますので、子どもたちにとってなじみのあるおもちゃなどを残していくことは可能です。若水会では各園で畑を持っているので、スペースが許す限り設置していきたいと考えています。
- ・Q 11.パンフレットを見ると、若水会の保育園では保育士などを先生と呼ばないとなっていますが、どのように呼んでいるのでしょうか。
・A 11.若水会では、子どもたちの個性を尊重すると同様に、職員の個性も尊重したいと考え、「○○園長さん」「○○保育士さん」「○○看護師さん」のように、名前と職名で呼ぶようにしています。
- ・Q 12.立川市職員はいつまで柴崎保育園にいるのでしょうか。
・A 12.2020年3月までは立川市の運営となりますので、原則として3月末まで立川市職員は概ね残ることになります。

第2回の三者懇談会は、平成31年4月以降の各クラス懇談会においてクラスごとに実施する予定です。

民営化に関する問い合わせ

立川市子ども家庭部保育課
電話番号 042-523-2111 内線1320 FAX番号 042-528-4356
電子メール hoiku@city.tachikawa.lg.jp
民営化相談専用メール enkatuiko_hoikusodan@city.tachikawa.lg.jp